

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第8号 平成26年5月3日

許盗塁5はバッテリーで工夫が必要？

好機に1本出ず 完敗・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	0	0	0	0	0	0	0	0
B	2	3	0	2	1	0	×	8



5/3 (土) SCL予選リーグの2試合目となるゲームを入船公園野球場で肉骨茶と行った。今日は久々に先攻でプレイボールとなった。先頭は倒れ一死としたが、二番智、三番光希が安打で出塁し、前節同様幸先良い展開かと思ったが、後続打者が倒れ残塁とした。そしてその裏、今日の先発は達脇、カウント1-2からの4球目、レフト後方に上がった飛球はそのまま柵を越す、先頭打者HRという幕開けとなった。その後も失策に安打が絡まり初回から2失点、翌二回にも1つの四球と3本の安打で3失点、4回には、3つの安打で2失点、そして5回にも失策に長打が絡まり1失点と、終わってみれば8：0の完封負けという内容であった。3回・6回と三塁まで進塁したシーンがあったが、攻撃は非常に淡泊そのものだった。それに比べ相手の打線はカウントが追い込まれると、基本的に忠実にセンターに返す打撃でコツコツ、淡々と行っているさまが、我がチームとは非常に好対照であった。また、それ以外にもう一つ感じた事。

それは許盗塁5という多さ、往々にして許盗塁は捕手に目が行きがちだが、やはりこれはバッテリーで工夫しなければ、阻止は中々難しい。クイックの投球動作、捕球からの送球と、非常に短時間で勝負だが、これは改善の余地が残るプレー、やはり練習でそこそこを習得しなければ、更なる厳しい戦いの場面では、出塁＝2ベースでは展開が非常に苦しくなる。

また、投手のウォーミング後にセカンドへ捕手が送球し、ボール回しとなるのが一般的だが、この第1球に関しては、相手チームは確実の捕手を見ている、これをふんわりでは、相手への威嚇にならないので、次回からは、ピシッと願う。何れにせよ、日々が大事なので、もっとアップの時間を有効に確認される事を、チームとして行っていきたい、と感じたプレーである。